

システム短縮ダイヤルを登録する

システム短縮ダイヤルの登録や削除は、システム管理電話機から行います。電話番号の登録のあと相手先の名前などカタカナ英数字で登録できます。

▼操作手順



1 [保留] キーを押す

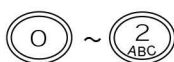


2 [短縮] キーを押す



3 システム短縮番号をダイヤルする

- 短縮番号 3 桁の場合、短縮方路番号は 000 ～ 999 になります。



4 番号種別をダイヤルする

- 公衆回線は、“0” をダイヤルします。
- 内線および専用線は、“1” をダイヤルします。
- 構内交換機に収容されている内線および専用線は、“2” をダイヤルします。

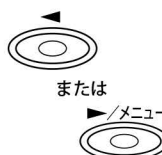


5 登録する電話番号をダイヤルする



6 [保留] キーを押す

- 名前の登録を行わない場合は、この操作で終了します。



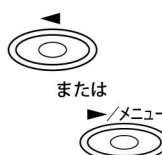
7 [◀] または [▶] キーで登録する行を表示する

000 :
アイウエオ カキクケコ



8 [決定] キーを押す

000 : →サ
サシスセソ タチツテト



9 [◀/▶] キーで登録する文字を選択する

000 : →タ
サシスセソ タチツテト



- ◇ システム管理電話機がわからないときは、販売店にご相談ください。
- ◇ 初期は、内線番号の一番若い番号がシステム管理電話機となっています。



- ◇ ポーズ信号は、[応答] キーで登録でき 1 桁としてあつかわれます。

補足

- ◇ 名前の登録操作中（操作7～10）に[発信]キーを押すと、ナンバーディスプレイ表示のとき、ディスプレイに電話番号と名前を表示できます。

※登録済み短縮番号表示中に[発信]キーを押しても同様です。

※この操作を行わない場合は、電話番号のみの表示となります。



10 [決定] キーを押す

- 必要に応じて操作手順7から10を繰り返し文字を入力します。



11 すべての文字を入力したら [保留] キーを押す

- 登録できた場合は、「ピー」と鳴ります。
- 続けて登録する場合は、操作手順3に戻ります。



12 [スピーカ] キーを押す



短縮番号を2桁にすることができます。
詳しくは、販売店にご相談ください。

システム短縮番号を削除する

▼操作手順



1 [保留] キーを押す



2 [短縮] キーを押す



3 削除するシステム短縮番号をダイヤルする

- ディスプレイ上段にシステム短縮番号と電話番号が表示されます。

1 2 3 - 0 : 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
バンゴウシュベツ :



4 表示をたしかめて [保留] キーを押す

- 削除できた場合は、「ピー」と鳴ります。
- 削除できない場合は、「ピーピー」と鳴ります。このときは、操作手順3からはじめます。削除を続けるときも、操作手順3からはじめます。



5 [スピーカ] キーを押す

システム短縮ダイヤルでかけるには

システム管理電話機で登録されたシステム短縮ダイヤルで、電話をかけることができます。システム短縮番号ダイヤルによるかけかた、システム短縮番号検索によるかけかたと、相手先名称検索によるかけかたの 3 種のかけかたがあります。

< システム短縮番号ダイヤルによるかけかた >

▼ 操作手順



1 受話器をあげる

- ・ 受話器から「ツーツー」と発信音が聞こえます。



2 [短縮] キーを押す



3 たとえばシステム短縮番号 “ 1 2 3 ” をダイヤルする

- ・ LCD ディスプレイ下段に電話番号を表示します。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- ・ 電話番号を表示すると同時に、自動的に外線とながらダイヤルをはじめます。

相手が応答すると、通話ができます。



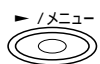
4 通話が終了したら、受話器を戻す

補足

[短縮ダイヤル] キーと短縮番号で発信した場合は、ネーム登録されている相手先でも、LCD ディスプレイにはネーム表示されません。

< システム短縮番号検索によるかけかた >

▼ 操作手順



1 「メニュー」キーを押す

T e l . 1 0 0
タンシュク No



2 [決定] キーを押す



または



3 「◀/▶」キーでシステム短縮番号を検索する

- ・「◀」(後スクロール)を押すと、逆方向にスクロールします。
- ・「▶」(前スクロール)を押すと、順方向にスクロールします。



または



4 検索終了後、外線ランプの消えている [外線] キーを押すか、[発信] キーを押す

T e l . 1 0 0
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- ・ディスプレイ下段に電話番号を表示します。
- ・電話番号を表示すると同時に外線につながりダイヤルをします。
- ・外線ランプは緑で点灯し、他の電話機の外線ランプは赤く点灯します。



5 受話器をあげる

相手が応答すると、通話ができます。



6 通話が終了したら、受話器を戻す

フレキシブルキーに機能を割り付ける

電話機ごとにフレキシブルキーに下記表に示す機能を割付けて使用することができます。

1 フレキシブルキーに機能を登録するには

▼ 操作手順



1 [保留] キーを押す



2 “ 0 ” をダイヤルする



3 機能を登録するフレキシブルキーを押す

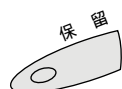


4 “ # ” をダイヤルする



5 機能番号を「機能一覧表」から選んでダイヤルする

- たとえば代理応答であれば、ファンクション番号 05 をダイヤルします。
- ディスプレイには「05 ダイリアウトウ:」と表示されます。



6 [保留] キーを押す

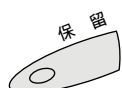
- 登録ができた場合は、「ピー」と鳴ります。
- 続けて登録するには、操作手順 3 に戻ります。



7 [スピーカ] キーを押す

2 登録を削除するには

▼ 操作手順



1 [保留] キーを押す



2 “ 0 ” をダイヤルする

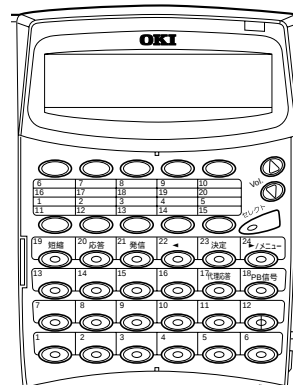


3 登録を削除するフレキシブルキーを押す

補足

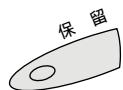
ファンクションキー配列

マルチ・キーテレホンuの場合



操作手順 5 の機能番号をダイヤルするかわりに [応答] キーで機能名を表示することができます。[応答] キーを続けて押すことにより機能順に表示します。

[応答] キーで機能順に表示していくとき、行きすぎてしまった場合、5 の操作でディスプレイに表示された番号のいくつか前の番号をダイヤルして前の表示に戻ることができます。



4 「保留」キーを押す

- ・削除ができた場合は、「ピー」と鳴ります。
- ・続けて削除するには、操作手順 3 に戻ります。



5 [スピーカ]キーを押す

3

機能一覧表

No.	機 能	ディスプレイ表示
01	リダイヤル	リダイヤル：
02	オートリピート	オートリピート：
03	ダイヤルメモリ	ダイヤルメモリ：
04	短縮ダイヤル	タンシュク：
05	代理応答	ダイリオウトウ：
06	秘話解除 / 会議	ヒワカイジョ / カイギ：
07	夜間切替	ヤカンキリカエ nn：
08	集中着信	シュウチュウ チャクシン：
09	指定外線転送	シテイガイセンテンソウ：
10	自己保留	ジコ ホリユウ：
11	不在設定	フザイ セッテイ：
12	PB 信号	PB シンゴウ：
13	予約	ヨヤク：
14	未使用	
15	不在転送	フザイテンソウ：
16	ACR 停止	ACR テイシ：
17	クラス切替	クラスキリカエ nn：
18	指定代理応答	シテイ ダイリオウトウ：
19	着信ウェイト	チャクシン ウェイト：
20	割込	ワリコミ：
21	フッキング	フッキング：
22	料金	リョウキン：
23	アラーム	アラーム：
24	FAX1	FAX1：

No.	機 能	ディスプレイ表示
25	FAX2	FAX2：
26	在席 / 離席	ザイセキ / リセキ：
27	通話録音	ツウワ ロクオン：
28	メール登録	メール トウロク：
29	録音終了	ロクオン シュウリョウ：
30	一時停止	イチジ テイシ：
31	ランプ更新	LED コウシン：
32	外線発信	ガイセン ハッシン：
33	キャリア選択	キャリア センタク：
34	メッセージ通知	メッセージ ツウチ：
35	内線 MBX 指定	ナイセン MBX：
36	内線料金	ナイセンリョウキン：
37	非通知	ヒツウチ：
38	外線代理応答	ガイセンダイリオウトウ：
39	内線代理応答	ナイセンダイリオウトウ：
40	キーパッド	キーパッド：
41	着信履歴	チャクシン リレキ：
42	ボイスワープ	ボイスワープ：
43	同報メールボックス	ドウハウ MBXnn：
44	チェックイン	チェックイン：
45	チェックアウト	チェックアウト：
46	モーニングコール	モーニングコール：
47	バッテリー駆動	バッテリー：



機能「No.07 夜間切替」、「No.17 クラス切替」および「No.43 同報メールボックス」の設定については販売店にご相談ください。

「No.44 チェックイン」「No.45 チェックアウト」は、ホテル / 寮システムの時使える機能です。